

まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2023年10月 No.13

議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!
で行動
元気!
は取り柄
勇気!
を持って挑みます!!



令和6年3月31日に郡上市市長選と市議会選が投開票され、日置前市長から山川新市長に交代されました。市議会は18名の内9名の方が新しく議員となられ顔ぶれも大きく変わり新しい体制になりました。私も二期目を迎え気持ちも新たに頑張る所存でございますより一層のご支援・ご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。臨時会の委員会構成などは議会だよりでも報告されますのでご覧ください。

令和5年 第5回定例会報告 12月4日～12月22日

条例一部改正/令和5年度補正予算/計画の変更/財産の取得及び処分などの11議案を可決

請願1件 <不採択>

健康保険証の存続を求める意見書を国へ提出することを求める請願

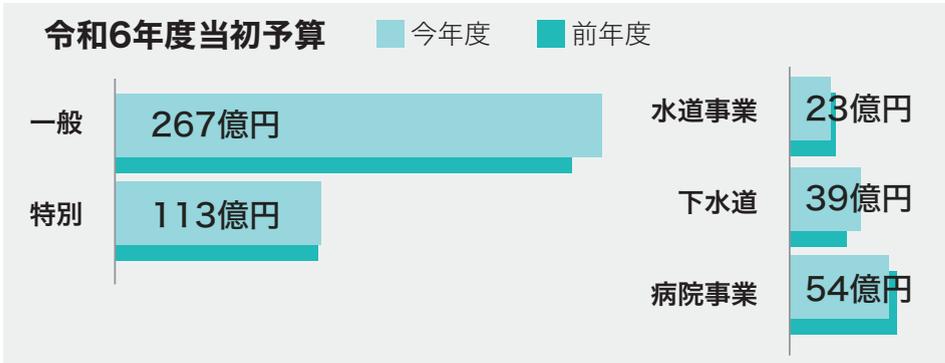
意見書1件 <可決>

ガザ地区におけるすべての戦闘行為を直ちに停止し平和を求める決議

12月の一般質問は体調不良で欠席をしたため、3月に一般質問を行いました。

令和6年 第1回定例会報告 2月20日～3月15日

人事案件/令和6年度当初予算/条例関係(一部改正23件)/財産の無償譲渡/議決議案など59件



郡上市議会委員会条例の一部改正により、大規模な災害等の発生や育児、介護等のやむをえない事情により委員が参集困難な場合に、オンラインにより委員会を開会できるように改正を行うほか、規則の不備をあわせて整備するもの。

郡上市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

郡上市民病院・県北西部地域医療センター国保白鳥病院経営強化プランが策定

役割・機能の最適化と連携の強化など6つの視点について計画を策定 期間：R6年度～R9年度

自治体新電力会社設立報告

法人の名称 株式会社郡上エネルギーソリューション

設立日：令和6年1月16日

資本金：500万円

実施事業内容

再生可能エネルギー発電事業や電力販売事業、省エネ事業等を展開し、それらで得られる利益を地域に裨益(役に立つこと)させることを目指す

令和6年4月16日に臨時会が開会しました

郡上市監査委員の選任同意について議案が提出され、私 田代まさよに同意いただきました

議員皆様方のご指導・ご協力を頂きましてこの職務を公平・公正に全うして参る所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

9月定例会 私の質問と市の答弁

保育園・幼稚園・こども園において防災用ヘルメットについて

質問

市内の小中学校には全員の防災用ヘルメットが配備してある。保育園などの未就学児には防災頭巾が適しているようだが、配備してあるところも配備のないところもある。市の支援があれば防災頭巾を配備することが出来ると思うが市の考えをお尋ねする。能登半島地震の事もあるので検討願いたい。

答弁

田口健康福祉部長

災害の発生に備え、緊急時の対応の内容の手順や職員の役割分担、避難訓練の対応などについては示されているが、防災頭巾や防災ヘルメットの常備は義務化されていない。園児の安全確保のために必要な対策を取ることが重要と考える。市の保育研究協議会において園児の安全確保対策について協議するとともに防災頭巾の配備に関する意見を伺い、購入への支援・助成について検討したい。

食品ロス削減について

質問

食品ロス削減の推進に関する法律の取組みや周知について

食品ロス削減目標として事業系食品ロス、家庭系食品ロス共に2000年度比で2030年までに食品ロスを半減にすること。食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%するという目標を立てられている。

私たち一人ひとりが食品ロス削減を意識することが目標達成に不可欠と考える。達成のための取組みは。

答弁

猪俣環境水道部長

我が国は食料を海外からの輸入に依存しており、2018年度の食料自給率はカロリーベースで37%、市区町村及び一部事務組合における年間の一般廃棄物処理費用は約2兆円である。さまざまな事を踏まえ令和5年3月に「郡上市食品ロス削減推進計画」を策定した。1つめの食品ロス発生量での数値としては、組成調査で判明した可燃ごみに含まれる食品ロスの割合を基に2000年度の食品ロス量1,558トンと2030年度に779トンとすることを目指す。2つ目の食品ロスの削減に取り組む市民の割合については、国の目標は取組みを1つ以上行う割合を80%としているが、市では3つ以上の取組みを100%の市民が実地することとした。食品廃棄物を削減する方法として「ダンボールコンポスト」を紹介し、コンポスト容器・電気式生ごみ処理機の購入に対する助成を行っている。大和中学校にバイオ式(生)ごみ処理機を導入し、環境教育を推進することとしている。今後も、市内の食品ロスを含む食品廃棄物の削減につながるよう、周知に努める。

質問

「郡上もったいないプロジェクト」などの食品ロス削減の取組みについて

市では食品ロス削減として、「郡上もったいないプロジェクト」通称Gumotta(グモッタ)を立ち上げている。Gumottaの仕組みと、このプロジェクトがより浸透するための取組みや周知は。

答弁

猪俣環境水道部長

食品ロスの削減と地域美化運動の推進を目標としてGumottaに取り組んでいる。まんぷくぷく手帳に30ポイント貯めるとオリジナルマイバックと交換できる。ポイントには「食べきりポイント」と「お掃除ポイント」がある。Gumottaを浸透させる取組みとして、郡上北高校の「食品ロス減らし隊」と協力し食品ロス削減をテーマとした行政情報番組の制作や「みんなではじめの一步!食品ロス削減カレンダー」を作成し、市内の全中学生に配布した。市内で開催される各イベント・広報郡上・ケーブルテレビなどのさまざまな媒体を活用して食品ロス削減の周知を継続し、「郡上ふるさとコイン」とのコラボレーションなども検討し、アイデアを駆使して親しみやすい取組みとなるようにしていきたい。

